

本荘こくどう通信

【発行】

国土交通省東北地方整備局

秋田河川国道事務所

本荘国道維持出張所

平成23年 3月23日発行

【第6号】

平成23年 東北地方太平洋沖地震に伴う 本荘国道管内【一般国道7号、日沿道】における 「道路照明及びトンネル照明の節電」のお知らせ

東北地方太平洋沖地震による電力供給不足に対応するため、秋田県内の一般国道(7号、13号、46号、日沿道、湯沢横手道路、琴丘能代道路)について、節電のための減灯を実施しております。**本荘国道管内一般国道(7号)、日沿道においても、3月15日以降、節電のため道路照明の減灯を実施しております。さらに追加節電対策として、3月22日から日沿道のトンネル照明の減灯も順次実施しています。**

なお、道路照明の減灯により、路面が暗くなっておりますので、ドライバーの皆様におかれましては、夕方の早めのライト点灯を行い、歩行者や他の走行車両に十分注意し、トンネルに入る際も、ライトの点灯など十分注意して走行していただくようお願いいたします。

また、今後も計画停電等により、日沿道トンネル内等についても全不灯になるおそれがありますので、管内の道路情報板等により以下の情報を表示しております。

道路情報板による表示内容

トンネル内
停電のおそれ
ライト点灯

交互表示

走行注意

日沿道トンネル入口
付近に看板設置



日沿道速度規制(50km)

計画停電等による停電時において、電光表示の速度規制が表示されない恐れがある場合、下記のとおり速度表示規制板を設置します。



【職員派遣】
(リエゾン)

東北地方太平洋沖地震に伴う
秋田河川国道事務所の主な支援状況

【燃料輸送】

●秋田河川国道事務所では、3月11日(金)に発生した東北地方太平洋沖地震に伴い、被災地である宮城県気仙沼市に3月12日(日)に職員(リエゾン)2名を派遣し、また、同県南三陸町、岩手県大槌町に、3月14日(月)に職員(リエゾン)を各2名派遣しました。

リエゾンの派遣により、自治体との連絡を密にしています。

※リエゾンとは…Liaison、「つなぐ」という意味のフランス語。災害時の情報交換に関する協定においては、自治体に派遣される国土交通省の職員を指します。

●平成23年3月16日(水)、東北地方太平洋沖地震の被災地である岩手県宮古市等に向けて、災害応急対策用建設機械の燃料として軽油18KL(キロリットル)を輸送。この輸送は国土交通省秋田河川国道事務所の要請に基づき結城運輸倉庫株式会社が実施。

○お問い合わせ先○
本荘国道維持出張所
〒015-0013

由利本荘市石脇字田尻野18
電話:0184-22-8558
FAX:0184-23-6264